

登録日 2020/3/3

レジメン名 BRE025(個人限定)

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

### 投与スケジュール

S-1+Pertuzumab+Tmab		21日毎 × PDまで	
		1コース	2コース
		1 8 15	22 ... (Day)
①	パージェタ 420 mg 点滴 60分 生理食塩水 250 mL 初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能	↓	↓
②	生理食塩水 50 mL 点滴 5分 (フラッシュ用)	↓	↓
③	トラスツズマブBS 6 mg/kg 点滴 90分 蒸留水 20~40 mL 生理食塩水 250 mL 初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能	↓	↓
④	生理食塩水 50 mL 点滴 5分 (フラッシュ用)	↓	↓
⑤	S-1 80 mg/m <sup>2</sup> 経口	Day1~14	

### 注意事項

<p>【適応】手術不能または再発乳癌の一次治療</p> <p>【使用上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パージェタおよびトラスツズマブは、病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。</li><li>・パージェタおよびトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</li><li>・トラスツズマブ初回投与時には、カロナールまたはNSAIDsなどの前投薬を検討する。</li><li>・パージェタおよびトラスツズマブ投与の際には、心エコーによる心機能を確認する(CLEOPATRA studyの基準を参考に)。</li></ul> <p>LVEF40%未満、あるいは40~45%でベースラインからのLVEF低下が10%以上の場合、投与延期。 モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。</p> <p>【投与延期してから再開する際の用量】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg)</li><li>・トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)</li></ul>
---

### 参考文献

<p>1)パージェタ、トラスツズマブBS、アブリキサン添付文書</p> <p>2)パージェタ適正使用ガイド</p>
---